

# 2020年度 特定非営利活動法人ハンス・バーガー協会

## 法人事業報告

1998年に、てんかん専門病院ベートルよりバックアップを受け、ハンス・バーガー協会が設立され、2020年度で22周年を迎えました。

ハンス・バーガー協会は、てんかん患者さんが地域生活を進めながら、社会的自立を目指していくためのグループホーム運営を目的とし、「てんかんを抱えながらも幸せになりたい」「自立した生活を送りたい」と願う気持ちに寄り添い支援していけるよう努めてまいりました。

2020度は、社会福祉法人格の取得に向けて申請作業をすすめていく予定でしたが、達成したと思われた財産の条件が、より厳しいことがわかりました。その問題を解決するためにはさらに資産を増やすか、土地・建物を取得する必要があるため、今後も検討を重ね、課題をひとつひとつ解決していかなければなりません。

現在、協会では、男性ホーム5棟、女性ホーム4棟を運営し、39名の利用者が入居する大所帯となりました。更に、入居希望の方がおり、新年度に女性グループホームを開設するため、新しい物件をお借りすることができました。

多機能型事業所サポートセンターリーチェにおいても開設から8周年を迎え、就労継続支援 B 型事業の利用者数が増えたことに伴い、定員の変更を予定しています。生活介護では、女性利用者の高齢化への対応が課題となることが増えてきました。

様々な課題はありますが、今後もグループホーム利用者の高齢化や重度化にも対応できる場所・人材を確保し、てんかんを抱える方々への支援活動の先駆けとして、様々な課題に向き合いながら積極的に支援を展開してまいります。ご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

### 1. 理事会について

第1回理事会（書面決議） 2020年5月28日

議題 令和元年度 事業報告、令和元年度 活動計算書報告、総会について

第2回理事会

※2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、理事会の開催を控えました。

### 2. 支援会員について

2020年度の支援会員は、正会員140名 賛助会員73名と併せて213名となり、多くの方にご支援いただきました。

課題としては、目標会員数の250名を達成することができませんでしたので、今後も協会の活動を周知してけるよう活動していきたいと考えています。

### 3. 事業について

#### (1) 実施事業について

事業所名	実施事業	定員	備考
------	------	----	----

リヴィール	共同生活援助	41名	GH9棟
サポートセンターリーチェ	生活介護	9名	
	就労継続支援 B 型	23名	

(2) 職員の雇用状況 2021年3月31日時点

職員数 合計36名 平均年齢61.25歳

内訳 ◎常勤職員 15名 (男6名 女9名)

◎非常勤職員 21名 (男2名 女19名)

職員数は2021年3月末日において法人全体で36名となりました。

全職員の平均年齢は2020年3月末の60.12歳から61.25歳となっています。

4. 職員の質の向上

(1) 研修の受講

各事業において、厚生労働省、宮城県及び仙台市・岩沼市主催の研修への参加を行う予定でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、外部の研修の参加を控えていました。

(2) 毎月情報の共有化

月2回 リーチェ職員会議

法人内の事業所の動向を共有し、検討事項の報告をし、職員にも共通課題としました。職員間での緊急連絡網の他、今年度から LINE を利用し迅速に情報を共有しました。

5. その他

(1) 助成金の取得

2021年1月 社会福祉法人清水基金さまより  
スチームコンベクション購入費用

2021年3月 公益財団法人ALSOKありがとう運動財団さまより  
送迎用車両 寄贈

# 2020年度 特定非営利活動法人ハンス・バーガー協会

## 共同生活援助事業報告

グループホームは、指定包括型共同生活援助事業(定員41名)として9ヶ所運営しております。

2019年度に続き、昨年度も転倒発作のある利用者さんが入居しているホームには、遅番体制を設け、16時から22時まで2人の世話人が支援に入る体制を継続しました。

さらに、転倒発作のある利用者さんや高齢化による介助が必要な利用者さんが入居しているホームでは、夜勤職員を2人体制とし安全面に配慮した支援を行なえる体制をつくりました。

今年度は、新たに3名の利用者さんを迎え、入居者の合計は39名となりました。難治のてんかん発作により、いまだ治療中のため入居まで至らない方も含め、グループホームへの入居を希望される方は年々増えている状況です。それらに対応するため、新しいグループホームを開設するための新しい物件をお借りすることができ、新年度の入居に向けて設備や環境を整えました。

大所帯となり、利用者の様々なニーズに対応するため、より細やかな支援が必要となっています。課題も多く様々であるため、当事業所だけではなく、バックアップ施設ベータテルからも支援をいただいております。今後も生活の基盤として安定した支援を行えるよう、支援体制の構築を図っていきます。

### 1. 事業の実施状況

- (1) 共同生活援助事業
- (2) 定員41名
- (3) 居住地の状況

居住地・・・9ヶ所(賃貸物件)

ホーム名	居住地	性別	定員数
リヴィール	仙台市太白区	女性ホーム	7名
アールト	岩沼市里の杜	男性ホーム	4名
ポールト	岩沼市里の杜	男性ホーム	7名
カナール	岩沼市たけくま	女性ホーム	4名
スキップ	岩沼市館下	男性ホーム	6名
ハーヴェン	岩沼市相の原	女性ホーム	5名
ヘーメル	岩沼市松ヶ丘	男性ホーム	3名
カールスⅠ	岩沼市二木	男性ホーム	3名
カールスⅡ	岩沼市二木	女性ホーム	2名
合計	9ヶ所		41名

### 2. 入居者の状況

- (1) 現員39名(2021年3月31日時点)

①男女人数 男性 21名 女性 18名



### (3) 防災について

- ①防災訓練の実施
- ②年2回、各ホームの消防設備点検の実施

### (4) 施設設備・修繕について

- アールト……オープンレンジ・電気ポット購入、LED 照明器具交換(老朽化のため)
- スキップ……洗濯機・オーブントースター・掃除機購入(老朽化のため)
- ポールト……炊飯器購入(老朽化のため)
- リヴィール……衣類乾燥機購入(老朽化のため)
- カナール……オーブントースター購入(老朽化のため)
- ハーヴェン……テレビ購入(老朽化のため)

## 4. 日常生活上の支援

### (1) 健康管理について

グループホームでは、毎朝の検温、体重測定、血圧測定に加え、随時、発作対応と健康状態の把握を行っています。

新型コロナウイルスの感染防止対策については、県のガイドラインを基準としながら、バックアップ施設ベアテルとの連携により、感染の心配のある利用者の把握と抗原検査を実施しました。幸いにも、協会からの感染者が出ることなく今年度を終えることができました。

### (2) 生活環境保持について

毎週定期的な清掃や食事準備を、各利用者同士の話し合いを行い決定しています。

掃除や整理整頓ができないところは、声をかけながら取り組めるよう支援しています。

ホームが老朽化し、設備が故障することが増えてきました。その都度、世話人からの報告を受け、修理・交換を行っています。

### (3) 食事の提供について

新型コロナウイルス感染防止対策のため、世話人の買い物の回数を減らせるよう、リッチェ厨房からの夕食(主菜)の提供を行いました。副菜や汁物などはホームごとに、バランスを考え提供しています。

### (4) 金銭管理について

利用者ひとりひとりが小遣い帳を記入し、将来に向けて金銭の自己管理能力を高められるよう支援しました。個々の状況に応じ、利用者本人やご家族と相談しながら、金銭管理を行ってきました。

### (5) 余暇活動の支援について

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、利用者さんには余暇的な外出を控えていただいていたいました。買い物についても、世話人や職員が希望を伺い、代行で行っています。

## (6) 家族との連携について

2020年度は、おたよりの発送や電話連絡にて必要な情報共有を行ってきました。新型コロナウイルス感染拡大のため、実家への帰省も中止せざるを得ず、利用者の不安感もあることから、オンラインでの面会を検討しています。

## 5. 苦情解決に関する取り組み

苦情・相談があった場合、職員、事務局が迅速に対応し、一人一人との対話を繰り返し行い、解決に努めています。

## 6. 年間行事報告

月	行事
4月	
5月	
6月	総会(書面決議)
7月	HBA 縁日
8月	
9月	
10月	芋煮会
11月	夕べの集い(配信動画視聴)
12月	クリスマス会
1月	
2月	節分、バレンタイン
3月	3.11コーラスライン(リモート参加)

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が中止・不参加となってしまいました。

芋煮会は、2班に分かれ密にならないよう注意しながら開催しました。クリスマス会についても、ホーム毎に行い、サプライズで職員がご家族からのプレゼントを届けています。縁日や節分など、小規模なイベントを行い、利用者さんの楽しみを増やせるよう工夫しました。



# 2020年度 特定非営利活動法人ハンス・バーガー協会

## サポートセンターリーチェ事業報告

### 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業は、畑部門、弁当部門、委託部門、手工芸製作部門での生産活動による工賃アップを重点課題として取り組んできました。

畑部門では、無農薬野菜栽培の拡大を目指し、無償でお貸しいただいている3ヶ所の畑で夏場の栽培数・収穫数をアップさせることができました。また、地域のスーパーマーケットへの販路を拡大し売り上げを増やしています。しかし、冬場の天候不良など令和元年度同様、露地栽培の難しさが課題となりました。

就労の対価である工賃は、一人当たりの平均月額工賃が昨年の11,000円から12,000円と1,000円増額することができました。目標としている15,000円には届きませんでした。新年度からは、厨房の整備をすすめ、弁当製造数を増やすなど、さらに工賃アップに繋がるよう取り組んでまいります。

#### 1. 運営状況の詳細

(1) 利用者定員 23名

(2) 利用者現員 2021年3月31日時点 26名(男13名 女13名)

2020年4月1日時点 23名(男11名 女12名)

(3) 利用者の入退所

新規契約者 齋藤敬 2020年7月 (生活介護より就労継続支援B型へ移行)

新関友美子 2020年7月 (在宅より利用開始)

清野雅人 2020年12月 (在宅より利用開始)

(4) 利用者の利用日数

年間開所日 269日 (2019年度 266日)

延べ利用日数 5,648日 (2019年度 5,459人)

利用率 84.5% (2019年度 89.2%)

※年度途中で3名の方が利用開始したことにより、延べ利用日数は189日増加していますが、利用率は4.7%減少しています。検査入院や体調不良でのお休みの他、長期間の入院や新型コロナウイルス感染防止のため長期で休まれた利用者さんがいたことが利用率に影響しています。

(5) 職員配置状況 2021年3月31日時点

	配置基準 (常勤換算法)	実人員	就業形態
管理者	1人以上	1人	常勤兼務
サービス管理責任者	1人以上		

職業指導員	2.7人以上	2人	常勤
生活支援員		3人	常勤専従・兼務
目標工賃達成指導員	1人以上	1人	常勤
合計		7人	

## 2. 実施事業の詳細

### (1) 就労支援作業品目

イ 畑作業	岩沼市内に3ヶ所お借りしている畑での野菜栽培
ロ 野菜包装作業	収穫した野菜の包装
ハ 弁当製造作業	厨房での弁当製造、配達、洗浄
ニ 委託作業	洗濯・清掃作業の請負(ベーター) 園芸作業の請負(ベーター)
ホ ガーデニング作業	花や野菜の園芸作業
ヘ 創作作業	手工芸品の製作

### (2) 就労支援事業収入

年度	就労支援収入
2020年度	10,307,616円
2019年度	8,112,406円
2018年度	7,870,954円

### (3) 利用者工賃について

年度	工賃総支給額	一人当たり月額	人数
2020年度	3,545,410円	12,845円	26名
2019年度	3,009,525円	11,710円	23名
2018年度	3,313,634円	12,182円	28名

## 3. 生産活動について

### (1) 畑部門

昨年同様、多種多品目の栽培を行い、売上向上に努力しました。夏場は天候に恵まれ、ミニトマトや枝豆、空芯菜、なす類、オクラ、甘長唐辛子などの収穫量が多く、売り上げを伸ばすことができました。秋までは安定した収穫量で推移していましたが、冬場は雪が多く、野菜の生育が遅いことに加え、鳥類による食害もあり、露地栽培の難しさが課題となりました。

野菜の販路については、これまでのイトーチェーン食彩館玉浦店、仙台泉・松森店に加え、2020年度より閑上店での販売を開始し、これまで以上に売り上げを伸ばすことができました。

### (2) 弁当部門

弁当(昼食分)の1日の売り上げ個数は、70~80個程でした。2020年度は、昼食だけでなく、グループホームへの夕食(主菜)の提供を行っています。



リーチェ利用者の増加とともに昼食提供も増えただけでなく、ベーテルスタッフさんからの注文や、エスハートさま、南東北相談事業所さまからも定期的に注文をいただき、年間の売り上げが、5,766,970円となりました。2020年度、清水基金さまより助成が決まり、2021年度スチームコンベクションを導入することが決定しています。

### (3) 委託部門

ベーテルからの園芸・清掃・洗濯を委託作業として請け負っていますが、2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため、病棟での清掃作業を休止しており、年間の売り上げは、昨年から約150,000円減少の1,424,824円でした。

### (4) 手工芸製作部門

さをり織り、ミサンガ作成、刺子布巾、薬袋、マスコット等、利用者さんがそれぞれ得意なものを製作しています。2020年度は新作のペットボトルカバーが好評でした。転倒発作を持つ利用者さんが座りながら安全に作業をしています。

# サポートセンターリーチェ事業報告

## 生活介護事業

生活介護事業は、女性利用者さんの高齢化による体力の低下や転倒に注意しながら活動に取り組んでいます。ベーテル作業療法でのストレッチや体操を取り入れ、リーチェ内で安全に留意しながら体を動かす機会をとっています。

機能訓練の他にも、創作活動においても個々に合わせたちぎり絵や塗り絵等の作品作りを行い、活動を充実させてきました。

就労支援収入は2019年度から約20,000円増の652,198円でした。生産活動を充実させることで、生活介護事業においても工賃アップを目指していけるよう支援していきます。

### 1. 運営状況の詳細

(1) 利用者定員 9名

(2) 利用者現員 2021年3月31日時点 7名(男1名 女6名)

2020年4月1日時点 7名(男2名 女5名)

(3) 利用者の入退所

新規契約者 佐藤真弓 2020年4月 (在宅より利用開始)

サービス移行 齋藤敬 2020年7月 (生活介護から就労継続支援B型へ移行)

(4) 利用者の利用日数

年間開所日 269日 (2019年度 266日)

延べ利用日数 1,916日 (2019年度 1,814日)

利用率 98.3% (2019年度 97.4%)

※4月に1名が利用を開始し、4月～6月は利用者が8名となったことで、延べ利用日数が102日増加しています。2020年度は入院される方が例年より少なく、体調不良でのお休みも少なかったため、利用率が上がりました。

(5) 障害支援区分 2021年3月31日時点

支援区分6	支援区分5	支援区分4	支援区分3
—	—	1名	6名

障害支援区分の平均 3.14 (令和元年度 3.42)

(6) 職員配置状況 2021年3月31日時点

	配置基準 (常勤換算法)	実人員	就業形態
管理者 サービス管理責任者	1人以上	1人	常勤兼務
生活支援員	2.9人以上	5人	常勤兼務

看護師	0.1人以上	2人	非常勤
合計		8人	

## 2. 実施事業の詳細

### (1) 就労支援作業品目

- ア 委託作業                      洗濯作業の請負(ベータール)  
   銅線外し
- イ ガーデニング活動              花や野菜の園芸作業
- ウ 創作活動                          手工芸品の作成

### (2) 就労支援事業収入

年度	就労支援収入
2020年度	652,198円
2019年度	632,207円
2018年度	875,583円

### (3) 利用者工賃について

年度	工賃総支給額	一人当たり月額	人数
2020年度	638,133円	7,596円	7名
2019年度	786,539円	9,363円	7名
2018年度	684,234円	8,226円	8名

## 3. 生産活動について

### (1) 委託作業

安島商店さまより銅線外しのお仕事を継続的にいただき、生活介護事業の利用者さんも作業を通して収入を得る喜びとなっております。

また、ベータールの洗濯作業を請負、利用者さんの体調に合わせた作業支援を行なっています。

### (2) ガーデニング活動

花の植えなど細かい作業が機能訓練にもなっています。育ったお花で季節に合わせた寄せ植えを作り、リーチェ店頭販売所「マーケット」とイトーチェーンにて販売しています。2020年度も「花と木のまちを創る岩沼市民ネットワーク」が主催している植栽活動へお花を納品しました。

### (3) 創作活動

刺子布巾作りに力を入れて取り組み、イトーチェーンや食菜館ひまわりで販売し好評でした。イトーチェーンで購入された方から、直接リーチェに連絡が来て「いつ、次の刺子布巾が発売されますか？」と問い合わせがあるほど、人気の商品となっています。

マスク作りも行い、ハンス・バーガー協会支援会員さまへのお礼品としてお送りしました。また、ちぎり絵や塗り絵、ペーパークラフトなど制作した作品を、リーチェに展示しました。

## 生活支援

### 1. 作業支援について

転倒発作がある利用者さんについては、職員が見守ることができる範囲での作業を行い、転倒による怪我をしないよう環境を整え、移動時は職員が付き添うなど、怪我をしないよう配慮しました。

発作があっても継続して作業ができるよう環境作りを行い、体調に合わせて作業班の配属を変えるなど流動的に作業に取り組めるよう支援しました。

2020年度は夏が大変暑く、熱中症の心配が続いたため、水分・塩分補給の励行と、体を冷やすアイテムを身に着けるよう声掛けしました。

### 2. 生活・余暇支援について

2020年度は新型コロナウイルスの流行により、感染を防止するため、旅行など外出をするイベントを控えました。外出ができない中で、縁日や節分会など施設内での小規模なイベントを行い、密にならないよう留意しながらミニゲーム等を楽しみました。

オンラインでの環境を整備し、ベータール行事などへのオンラインでの参加に役立てました。

### 3. 健康管理について

(1) 協力医療機関 てんかん専門病院ベータール

(2) 通院

利用者の病状を把握し、歯科、整形外科、皮膚科、眼科、内科・呼吸器科等、グループホーム世話人と分担しながら、通院付添を行い、病状の改善に努めました。

肩や腰などの痛みを訴える方が多くなり、整形外科への通院が増えています。通院時に指導されたストレッチや体操をリーチェやグループホームで取り組み、痛みの改善に努めています。

(3) バイタルチェックの実施

週4回、看護師による血圧・検温・体重測定を行い、利用者1人1人の健康状態を把握し、グループホームとの連携を図りました。

(4) 感染症対策

冬季のインフルエンザやノロウイルス感染対策だけでなく、1年を通して新型コロナウイルスの感染防止対策のため、手洗いうがい、アルコールでの手指消毒の徹底を行いました。施設内のアルコール、次亜塩素酸による消毒の回数を1日4回に増やし、利用者送迎後の車両の消毒も徹底しました。

感染が広がる危険がある昼食については、場所や時間をわけ、アクリルボードを設置し、黙食を励行するなど、感染防止に努めました。

### 4. 昼食の提供

リーチェ内厨房で作ったお弁当を提供しています。リーチェの畑でとれた無農薬野菜を使い、副菜の種類も豊富になっています。月2回のおたのしみ弁当や色ごはんが好評でした。

## 5. 防災訓練の実施

11月30日 避難(火災)・誘導・通報訓練

3月29日 避難(地震)・誘導訓練

## 6. 年間行事

月	行事
4月	
5月	
6月	総会(書面決議)
7月	HBA 縁日
8月	
9月	
10月	芋煮会
11月	夕べの集い(配信動画視聴)、避難訓練
12月	クリスマス会
1月	
2月	節分、バレンタイン
3月	3.11コーラスライン(リモート参加)